

好きな事したい事なりたい事 ナチュラルに...

このコーナーでは、「女性の仕事、男性の仕事」という従来の枠を越え、自分に正直に「やりたいこと」を実践している方をレポートします。

男子、厨房にすすんで 入るベシ!

取材に訪れたのは昨年末。その日の出席者28名の皆さんが思い思いのエプロンを身につけて、手際よく作業を進めていく中、初年度から参加しているメンバーの方にお話を伺いました。

古屋さんは、この会の一歩の古株だとお聞きしています。きつかけは?

私が昭和61年に会社を定年退職した後、姪にすすめられた料理教室があるけど参加してみた、と。それが昭和62年のことで、たまたまこの会のスタートでした。

それではもうエプロンですね。
魚のことならお任せください(笑)。三枚おろしなどお手のもので。初めは、薄くできなくてね。でもだいぶん慣れました。

ご家族の方のご感想は?

妻が外出・外泊の時など、食事の心配をしなくてよくなったと、随分安心して出掛けられるようになりましたね。

ご自分で変わったと思ってる?

食材は旬の物をいただくようになった。料理を始めた。野菜も作りたくなっています。少しづつですが、大

男のための料理教室 DATE
講師 原 たか子
平成10年度会員 37名
教室 月に1回
～この日の献立～
・豚こつ煮
・大根とハムのサラダ

根や春菊など今ではおよそ30種類を育て、料理に使っています。



古屋さんにお話しを聞いている間にも、豚こつはいい香りを放ち、大根とハムのサラダは丁寧に盛り付けられていきます。そんな中、ほかの方々にも伺ったお話しを一部ご紹介します。

☆料理を始めて、妻のありがたみが身に染みた。

☆お世辞かもしれないが、作ったものを「おいしい」と食べてくれるとうれしい。

☆男だっておかゆの一つも作れないとね。だいぶん慣れたが、自宅の台所に立っている

る時に来客があったりすると、思わず恥ずかしさで飛び出してしまおう。
☆今では、朝のみそ汁作りは私の仕事。頃合いを見計らって妻を起こします。



料理作りにとっても自信を持つている人、ほんの少し慣れた人、教室以外ではまだまだ恥ずかしさを隠しきれない人など、さまざま。そんな生徒達を温かく指導してこられた原先生にも、お話しを伺いました。

初めての時の様子は?

今年度の生徒達は、一人を除いて皆仕事を定年退職した人ばかりで、年配の方が多い。包丁に触ったこともない人もいます。だから初めはおとなしく、こわごわとしています。が、今のこの時期になると皆堂々としてきますね。



男性がこのように料理に参加することで家族関係に変化はあるようですか?
彼らのエプロンは家族からのプレゼントだったり、毎回きっちりアイロンをかけてもらって送り出される人もあるくらいで、家族皆で温かく応援しているようです。又、教室では後片付けもきちんとしますし、ごはんや汁物ができたら、気を利かせて何も言わなくても配膳してくれそうです。料理をするようになって、非常に互いを思いやる気持ちも出てくるようになったようです。男性も気軽に炊事場に立てるようになることが、これから必要ですね。

自然体で受け止めた保育士

子供が好きだから…



プロフィール

氏名 河野 拓
年齢 22歳
職業 保育士
就職した年齢 20歳

保育士になりたいと思ったのはいつ頃からですか？

高校時代からです。実家は豊後高田の方ですが、住宅街に住んでいたのが周囲に小さい子供が多く時間があれば一緒に遊ぶのが楽しかったです。子供と遊ぶのが楽しかった。自分も夢中になっていくのが仕事になり、こういうことが仕事になりたかったです。それで高校の先生に相談したら保育士の専門学校があると教えていただき受験をしました。

その職種の専門学校は女性が多いですが抵抗はありませんでしたか？

初めは抵抗がありました。当時、男性は4人入学しましたが、なかなか慣れなくて、講義も隅の方で聞いていま

た。しかし大学の男の先生が私たちに気を配ってくれて、より立ててくれたので卒業する時にはもう抵抗はなくなっていました。

この保育園を選んだのは？

大学を出ても、男性だから保育園が雇用してくれるのかという不安の中で、とても選ぶという状況ではありませんでした。その当時、青山保育園に男性の保育士がいると聞いていたので、希望は持っていました。園長先生が声をかけてくれた時はとても嬉しくて感謝しました。

園長先生、男性の保育士を採用された理由をお聞かせ下さい。

毎年、実習生を受け入れていました。彼は非常に人当たりがよく、子供に対して優しさが漂い大変感じのいい男性でした。前年度より、女性の職場に男性がいれば色々な面で見えなかったものが見えてくると思っていました。

弱音を吐いてはいられない

で、彼に来てもらうようにしました。来年はもう一人男性の方を、彼の為にも雇用したいと思っています。

保育士になったの感想は？

初めは戸惑うばかりで、何をしたいのか分らず皆さんの足を引っ張る事ばかりでした。毎日、与えられた仕事をこなしていくことで精一杯でした。一年目は色々ありましたが、女性も男性も同じ職員なのだから弱音は吐いていい事はないと、子供から先生からも認められていくので頑張りました。子供がいて、保護者がいて、地域があるその中で、



毎日自分が育ててもらっている事を実感しています。子供から学ぶ事が多く、子供たちと共に一緒に成長出来ればよ

いと思っています。自分が好きで選んだ仕事だから苦労というのではありません。

仕事上気を配っていることは？

友達や輪の中に入れない子供がいたら、様子を見ながらそっと声をかけていくなど、いつも色々な事に気配りできるように心がけています。又、そうした自分の姿を見て子供達は日々育つと思っています。

よりよい保育士として

両親や周囲の反応はどうですか？

大分県ではまだ男性は少ない職種なので周囲の人には抵抗があった様に思います。親や兄弟は好きな職業なら頑張るって自分の好きな事をやりなさいと応援してくれました。

将来の目標や希望はなんですか？

園長先生にまかせてもらえようになりたい。今は子供達のお兄さんの役割になれたらよいと思っていますが、経験をかせね、よりよい保育士として成長していきたいです。大分県の男性の保育士達で何かこれからの保育を盛り上げるようなことがしたいと話しています。

男女共同参画社会についてはどう思いますか？

男女共同参画社会という言葉は初めて聞きます。私の中には職場の中にも男性だから女性だからという境は感じません。特に意識すること無く色々なことが受け入れられていくので、私は自然体で参画出来ると思います。

原稿募集

- ①「男女共同参画社会」へ向けて、広く市民の皆様のご意見・主張を募集いたしております。皆様の声を誌面にぜひ活かしてください。
- ②在日外国人の方右記の質問内容について母国のことを教えてください。
- ③男女共同参画社会に関する催しものに参加された方。レポート内容と写真を送付ください。
- ④こんなコーナーがあつたらいいなと思われている方。ぜひ編集会議にご参加ください。
- ⑤男女共同参画社会に関心を持たれている方。連絡先を教えてください。座談会などに出席していただきます。